

清風クラブ

坂間 正昭 議員

本市事業の財政について

問 財政事情により住民が待ち望んだ事業が進まないのは集中と選択ではないかと思うが、事業選択の主な基準とは何か。そして財源集中の実践とは具体的にどのようなことなのか伺う。

市長 限りある財源を有効なものとするため、重点的に取り組む事業を位置付け、行政評価等を踏まえて事業の必要性や優先度、財源配分の在り方などについて順次検討し、真に必要な事業について予算措置をすることとしている。

問 受益者負担の原則からいえば、確実に納付をしてもらい財政の健全化を行うのが先決だと思う。納付できる方の未納金対策をどうしているのか。

市長 生活に困窮されている方などには、分割納付の方策などの徴収猶予の緩和措置を取っている。また、口座振替やコンビニエンスストアでの納付など多様な納付方法を提供してきている。市税の滞納者については、滞納管理システムの運用により、進行管理の徹底、滞納整理事務年間計画の策定、差し押さえの強化、さらにインターネット公売も21年度内に取り組むとともに、関係各課で連携を図り、市全体の徴収ノウハウの向上に取り組んでいる。

問 地域活性化・経済危機対策臨時交付金を有効活用するため、本市ではどのような基準に基づき事業選択しているのか。

市長 国が示す目的に合致し、また、総合計画に位置付けている事業、需要の増加に伴い早期の対応が必要な事業等を対象に、交付限度額の範囲で決定していく。

新型インフルエンザについて

問 新型インフルエンザが発生した場合、感染の疑いが生じると個人の情報は伏せて発表されているが、特定され、現実に感染者および感染の疑いでも中傷や嫌がらせの事例があったと聞く。本人、周辺を含め精神的に相当な負担がかかるかと推測される。心のケアについて本市ではどのような対策・対応をするのか伺う。

防災危機管理部長 平塚保健福祉事務所では「心の健康相談」等各種相談を実施している。新型インフルエンザについては、その流行段階や感染した対象者の年齢、感染の規模により、さまざまな面での対策が想定される。今後、感染拡大市等の例を参考に福祉部局をはじめ各部署と連携して対応を検討していく。

問 新型インフルエンザが大流行した場合の消火や救急業務の優先順位や人員確保策を盛り込んだ「業務継続計画」について本市の策

定状況と内容について伺う。防災危機管理部長 「新型インフルエンザ対策のための平塚市消防本部業務継続計画」を平成21年5月に策定した。主な内容については、消防業務継続のための人員配置や資器材の確保、関係機関との連携、市民への周知と広報体制、職員の感染防止策、新型インフルエンザ発生時における消防活動、救急活動、救助活動体制や事務部門の業務を縮小し現場活動を増強するなどの方針を定めている。

特色ある学校づくりについて

問 「土沢中学校ならではの魅力ある教育を研究していく」と早急に対応をしていただいているとのことだが、21年度の学校教育の重点施策である「特色ある学校づくり推進事業」のモデルになると思っているので、経過と今後の予定を伺う。

教育総務部長 教育委員会内に「地域に根ざした教育を考える検討会」というプロジェクトチームを立ち上げ、土沢中学校の生徒数減少に歯止めをかけ、入学希望生徒数を増加に転じさせることができるような方策の検討をしている。土沢中学校が持つ自然環境や少人数の良さを生かした教育、あるいは神奈川大学との連携など、さまざまな方策を検討する中で、現在の焦点は、地域のメリットを生かした「神奈川大学との交流連携事業」を特色にできないかということについて神

奈川大学に現状を伝え、理解を得られたところである。教育委員会・土沢中学校・神奈川大学の三者が率直に意見交換をしつつ、具体的な検討を進めていく予定である。

黒部 栄三 議員

パークゴルフ整備で地域活性化を

問 21年度一般会計補正予算で、上古沢の神奈川県の所有地をパークゴルフ場として整備するということが、経過と概要、今後のスケジュールについて聞きたい。

社会教育部長 企業庁と配水池の上部利用を検討し調整した結果、パークゴルフ場を整備することになった。18ホールの公認コースと駐車場等の整備を行う。造成工事は平成21年10月から平成22年3月まで行い、芝生の養生と管理棟の建設を同年4月から開始し、10月にオープンを予定している。

問 東名秦野中井インターを利用する車両の通過が多いが、周辺の道路整備も含め安全対策をどう考えているのか。また駐車場は十分か伺いたい。地域活性化策として地場産農産物直売所を近辺に設置したらどうかと考えるが、見解を聞きたい。

土木部長 当面現況道路を使っていく。しかし、支障が出れば整備も検討していく。

社会教育部長 駐車場は約90台を、大型バスは送迎の

みと現在考えている。直売所にもさまざまな形態があるが、常設は難しい。他の施設では市場という形で行っているため参考にした。

問 土屋橋の近くに直売所はあるが、平塚方面から来た人が通り越してそこまでいくか疑問である。パークゴルフ場のすぐ近辺への直売所の設置と周辺道路の安全対策について再度見解を伺いたい。

社会教育部長 常設の直売所は難しいが、他の形や場所も含め、関係機関と検討を進めていきたい。

土木部長 警察と協議して対応策を検討していきたい。

市民派の会

後藤 輝彦 議員

黒部丘のマンションとパチンコ計画問う

問 良好な住環境づくりは市の責務である。まずマンション問題で市が指導してきた経過と今後の対応、とりわけ平塚市開発審査会、平塚市建築審査会における経過と着目点を問う。

まちづくり政策部長 事業者には駐車場出入口の分散化、壁面後退、消防車の進入配慮などを再三要請してきた。歩道空地の確保、バルコニーの縮小については協力が得られたが、その他は事業者からの協力は得られなかった。開発許可書、建築確認済証も交付済みであり、事業着手できる状況

農家の声を、平塚の畜産振興に

問 本市農業もさまざまな問題を抱えている。特に後継者不足や高齢化が挙げられる。20年度に行われた畜産業を含めた主な農業振興策とその評価、課題について伺いたい。また、牛群検定導入支援と雌雄判別精液使用への補助についての考えを合わせて伺いたい。

経済部長 主な振興策として、担い手総合対策をはじめサポートファーマー育成事業の実施、農産物の流通や施設整備に関する支援や農業関係団体への活動費の

助成等を行った。畜産振興については、自給飼料作物栽培促進を図るため種子購入費用の補助や家畜排せつ物処理施設の整備改修費、脱臭資材購入費及び死亡家畜処理費の補助等を行ってきた。厳しい経営を続ける農家からは高い評価を受けている。課題としては後継者の育成や新たな担い手の創出、安定した経営実現のため、多様な販路の開拓など、農業者や関係団体と連携しながら取り組んでいきたい。牛群検定事業は酪農経営における改善成果が期待できるとされている。平塚市畜産会をはじめ、酪農

者の意見を伺いながら検討していきたい。雌雄判別精液の補助については本市が活動費の一部を助成している平塚市畜産会の事業として21年度から開始している。

問 昨年、原油や飼料等の高騰時、本市も緊急経済対策として各種施策を打ってはいるが、ベストではない。先を見据え、政策を立てられるエキスパートの育成も必要ではないのか。

経済部長 自給飼料作物栽培促進対策補助金として、種子購入経費を補助している。人材育成については、現状では非常に難しいが必要性は認識している。

にある。開発の審査請求は、開発審査会で却下および棄却となり、建築確認処分を取り消しを求める審査請求が本市建築審査会に提出されている。請求内容は、各棟が渡り廊下で連結されている形態では一つの建築物とはいえず、建築基準法に反するといったものである。

問 パチンコ店出店問題では、立地の是非は市開発審査会で決定すべきと考えるが見解を問う。住民要望に対し市はどのような対応をしたのか。また前面道路の扱いについての解釈も問う。さらに、パチンコ店出店規制の条例制定についての考えを問う。

まちづくり政策部長 開発審査会の所掌事務は市街化調整区域に係る開発行為の許可に関することなどが規定されており、本件は審査会所掌事務とならない。今回の開発区域面積は1万平

駅西口エレベーター設置の考え方を問う

問 平成20年8月12日、市長とJR東日本横浜支社長との協議でJRより平成23年着工を最優先することなど6点が示された。このこ

とへの市の受け止め方や現在の庁内作業について問う。また駅北側、南側、ホームの3点セットの考え方が、駐輪場建設計画が否決されている現在、23年着工をどう考えているのか。

まちづくり事業部長 JRが積極的な姿勢を示しているのを機を逃さぬようにしたい。現在、設置内容や負担割合等の覚書の事務手続き中である。今後は設置場所やスケジュールについて協議し、協定締結後、設計、施工へと進めたい。

市長 平成23年にできるような最善の努力をしたい。そのために駐輪場施設の設置も提案するのできちんと審議してほしい。西口のバリアフリー化のエレベーター設置は市長就任以来の優先課題である。JRとの覚書に合わせ、財政計画も工事手順も最善の努力をしたい。